

てゐるが策が討議され練られる程益々實際問題としては鑛物の流通量と商業的傾向は幾分は變化はあるにしても本質的には異らないといふことになる。次に判かりきつたことだが或る國策が賢明に思考されたもので且つ一地方の支持を得てゐるに反し他の多數は何等世界の狀況を考慮せずに唯自己充足、經濟的機會均等、自己決定等のための一國としての希望か野心に過ぎないこともある。

此等の政策の或るものは既に經驗上非經濟的で無益なものと判定されてゐるが其の他も近き將來に於て恐らく同様な結果になるであらう。從來のやうに立法者及び官吏が一部の偏頗にして混亂せる消息のみを採用してゐる頭腦では自國のために最も有利にせんとする讚美すべき野望に於いて過誤に陥つてゐるのが當然である。

彼等は一方では特殊な局所的消息と壓力を手にしてゐるが、他方に於ては唯曖昧にして屢々撞着(矛盾)を起すやうな報告しか手に入らな

い。

現在は實に急速に判然としてくる世界の鑛物情勢の見透しを利用することに據り有効な政治的成就を講ずべき絶好の機會である。國際的手段は主に門戸開放とコンセッションの問題を取扱ひ生産と販賣を扱ふものは未だに少い。

而かも孰れも萬國に普遍なものはなく大抵は少數國に限られてゐる。或るものは鑛物の自然に於ける分布に準據して商業的傾向を援助し決定せんと企てるものがあると同時に他方では之を變革せんとするものがある。

然し其の結果は一つとして恒久的なものとなるやうな根本的變革になつてゐない。國家の接近するに伴ひ過誤が行はれ商業的動向に追從して政治的調節の修正が行はれるのである。

(未完)

## 新著紹介

○藤原宮址傳説地高殿の調査 日本古文化研究所發行

黑板博士指導の下に立つ日本古文化研究所の最近に於ける最大の收穫とみるべきは大和藤原宮址の發掘と其復原に關する努力であるが、本書は其第一回の報告であつて第一に藤原宮の造營と沿革、第二に文獻上から見た藤原宮の規模を論じ第二編に傳説地たる鴨公村高殿の位置を明にし、最近の發掘と其經過を明にしたもので、極めて多數の古瓦其他の出土品について詳細な報告がのせてある。主として足立康氏と岸熊吉氏の努力である。我等はかうした資料によつて奈良平城宮以前の宮址が漸く世に知られんとすることを喜び、兩先生の努力に感謝する。(藤川)

○鮮滿動植物通鑑

村田懋麿著 目白書院發行  
定價二十圓

菊版八百頁の大冊ではあるが定價二十圓といふのは思ひ切つた値段である、本書はその名の示めす通り鮮滿のあらゆる動物と盛京通志や吉林通志以下鮮滿の典籍にあるすべての資料を訪採したもので誠に珍らしくもあり、面白い有益な好著である。筆者は卷末の朝鮮料理の一章をみて教へられたのを感謝するが、滿洲あたりの動物でも讀んで行くうちに、あゝさうであつたかと思はるゝものが甚だ多い。朝鮮名と支那名と倭名との對譯があるのが、何といつても本書の特徴であらう。(藤川)

○中國經營西域史

曾問 吾著 商務印書館發行  
定價二元五角

支那の參謀本部邊務研究所の所員曾問吾氏の近著である。兩漢の西域經營から魏晉隋の經營をのべ唐朝之經營にわたり五代宋をへて蒙古西征の偉蹟に及び、明清をへて回疆の亂に至り新疆省と外國の關係を論じて上編を終り、下編に新疆統一と其憂患及びロシアとの交渉を明にしたもので一片憂國の熱情の發揚された快著である、最後の地誌篇は參考するに足りと思ふ。(藤川)

○廣東省明細新地圖

葛煥編繪 開明書店印行  
定價四角

支那で出来る簡單な一枚刷の省の地圖が近頃は直ちに我國の漢籍書肆の店頭にさらされるやうになつた、本圖のごとき其一例である。勿論精密を極めた地圖ではないけれども新しい交通路や自動車路や縣名村名など可なり詳かにすることが出来る、かうしたのも、見るに従つて採收されんことをすゝめたいと思ふ。(藤川)

雜報

○セイロン島の觀光

面積二萬四千七百平方哩、臺灣より少しく大きい、西曆紀元後屢タミール人の襲來をうけ折角紀前の文化地域も散々に荒されたが一五一七年ポルトガル人に海岸を占められ一六五六年にオランダに支配され、一七九六年には英領になつた。葡萄牙の時代には王朝はあつたが一